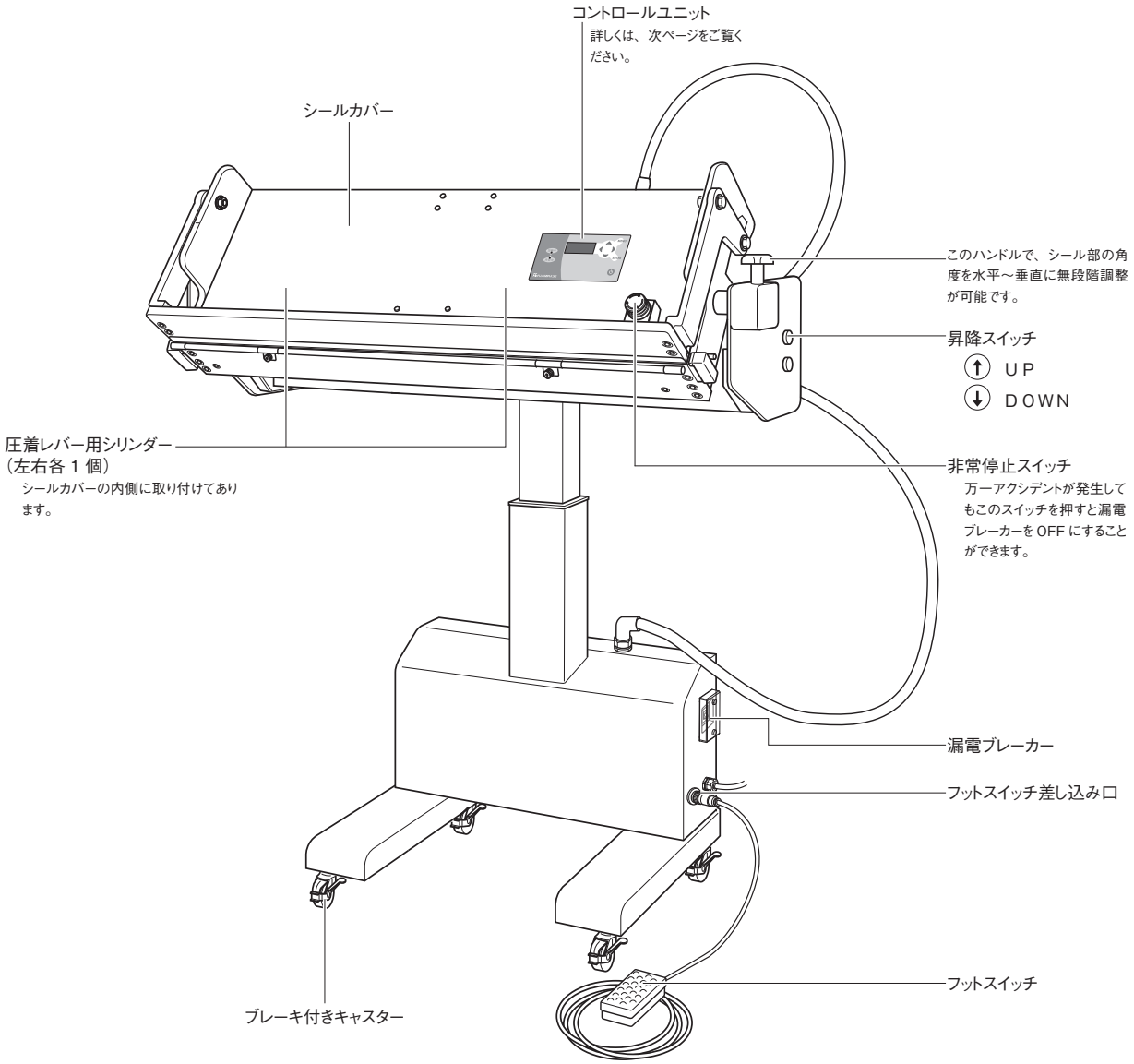
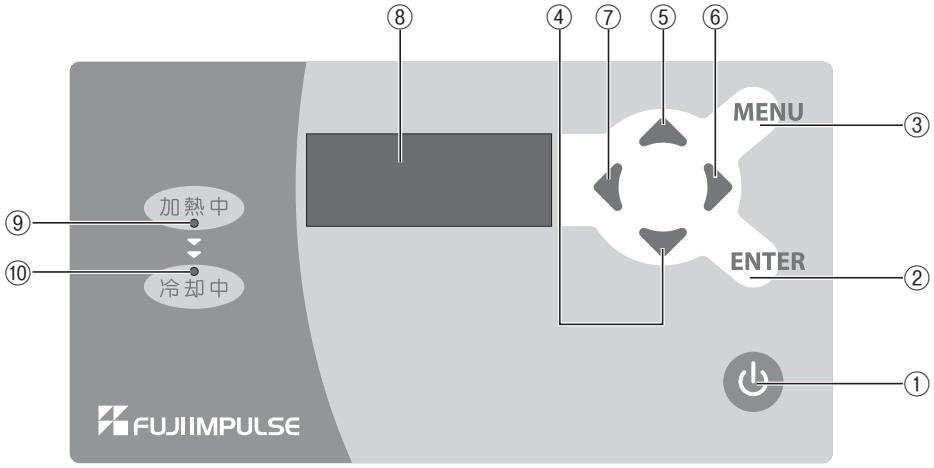
6　各部の名称とはたらき

製品本体



コントロールユニット



① 電源ボタン
電源を入/切にする時に押します。(漏電ブレーカーが「入」状態の時)

② ENTER ボタン
各項目、設定を確定する時に押します。

③ MENU ボタン
メニューモード画面を呼び出す時に押します。

④⑤⑥⑦選択ボタン
各設定画面で項目への移動や数値増減などの時に押します。数値設定の場合▲、▼ボタンを押し続けると、数値が高速で増減します。

⑧ディスプレイ画面
各項目・設定内容がこの画面に表示され、この画面表示の順に設定作業を進めます。

⑨加熱中ランプ
加熱工程中、点灯します。

⑩冷却中ランプ
冷却工程中、点灯します。

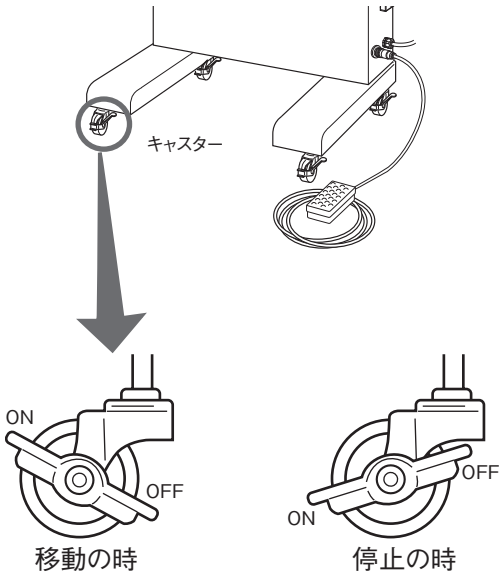
7　準備

7-1　作業場所の確保

作業場所が決まりましたら、製品下部のキャスター（4 個）をしっかりとロック ON にして固定してください。

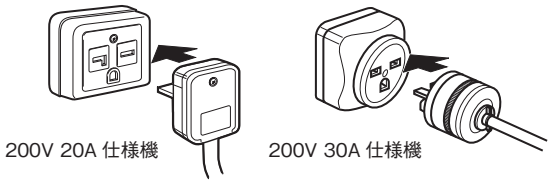
⚠ 警告　傾いたり、段差のある不安定な場所では使用しないでください。製品が設置場所から移動したり、落下したりして、製品の破損や人体の損傷につながります。必ず安定して設置できる水平な面を持つ場所に作業場所を確保してください。

⚠ 警告　設置面が濡れていたり、水滴・水蒸気のかかる場所では使用しないでください。製品の故障の原因となり、漏電・感電の恐れがあります。



7-2　電源の接続

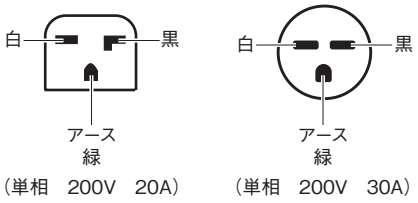
電源は必ず「11 仕様」に記載している電圧・消費電力に適合した容量のコンセントから直接接続し、電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。
「電気配線工事は電力会社の認定工事店、または第3種接地工事の資格者により行ってください」



⚠ 警告　消費電力は機種によって異なります。コンセントの容量が製品の消費電力以上あることを確かめ、直接接続してください。容量の少ないコンセントから電源を取ったり、継ぎ線やタコ足配線をすると電圧降下し、製品が正常に動作しないだけでなく、電線やコンセントが発熱して火災の原因にもなります。適切な容量の電源工事を行ってください。

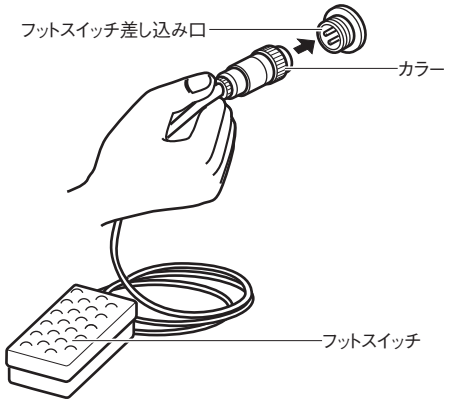
⚠ 警告　製品に組込まれている標準のプラグの取替え配線をする場合、接続に誤りのないことを確かめてください。配線の接続は左イラストのようになっています。またアース線が所定の端子に接続されていない場合、電源側で短絡（ショート）したり漏電します。

プラグ



7-3　フットスイッチの取り付け

附属部品のフットスイッチを製品右下にあるフットスイッチ差し込み口に差し込み、カラーを回してねじ込み固定してください。



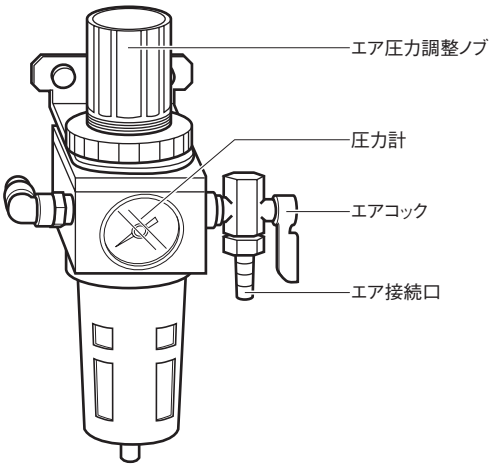
7-4　エア源のセットアップ

LOS シリーズは製品を駆動させるために別途エアコンプレッサーが必要となります。適合するコンプレッサーをご使用ください。

適合コンプレッサー

クリーンエア：0.75kW 、80L/min 、0.6MPa 以上

注 ！　フロート式オートドレン仕様で、ケース内にドレンが溜まると外部に排出されます。



エア配管

エア配管は、チューブまたはエアホースを使用してください。

⚠ 注意　チューブまたは、エアホースをエアコック（エア接続口）の根元まで差し込みホースバンドでしっかりとめてください。

以下作業を始める際、フィルタレギュレータのエアコックを開くと、エア圧力で圧着レバーが開きます。充分注意して準備してください。

エアコック

エア源の接続を行ったのち、フィルタレギュレータのエアコックを開き、エア圧力の調整を行ってください。

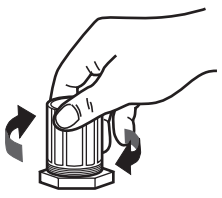
作業終了時には、必ずエアコックを閉じるようにしてください。

エア圧の調整

フィルタレギュレータのエア圧力調整ノブを引き上げ、時計方向（右回転）に回すと、エア圧が上がります。

設定位置でエア圧力調整ノブを押し、溝に入れてロックしてください。

圧力設定値：0.5MPa



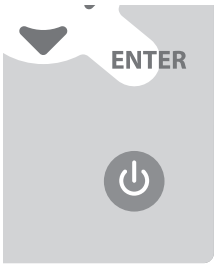
7-5　ブレーカーを ON

シール高さの調整の前にブレーカーを ON 状態にしてください。

漏電ブレーカー ON

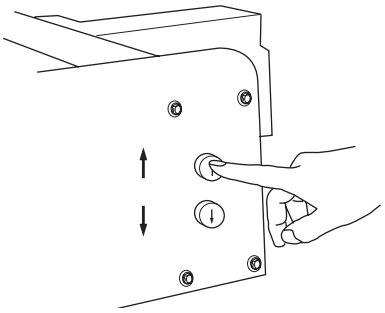
7-6　電源ボタンを ON

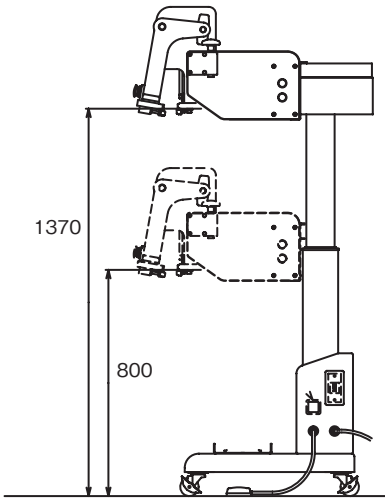
コントロールパネルの電源ボタンを ON 状態にしてください。



7-7　シール高さの調整

シール高さの調整は、製品側面のシールバー UP/DOWN ボタンで 800 ～ 1370mm（シール部が垂直状態の場合）に高さ調整ができます。



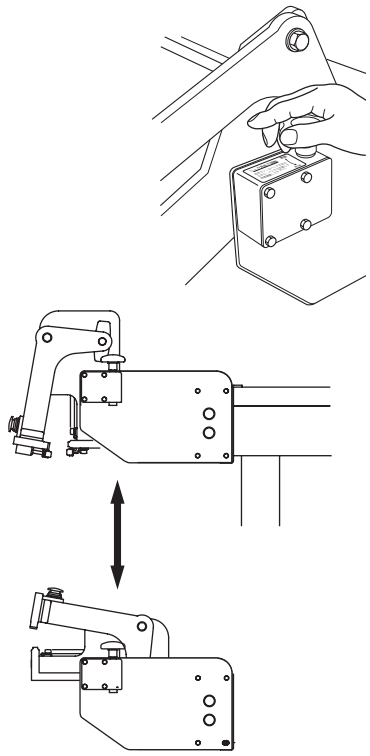


このイラストはシール部が垂直状態です

参考
水平時 1020mm（最低）
1590mm（最高）

7-8　シール角度の調整

シールバーに手を添えながら、製品右横のノブを時計方向に回すと垂直方向に、反時計方向に回すと水平方向に、シール部の角度を変更することができます。



シール部を水平～垂直へ無段階調整可能

7-9　非常停止スイッチの作動状態確認

万一のトラブルに備えて非常停止スイッチを押して、漏電ブレーカーが「切」になるか、非常停止スイッチの作動確認をしてください。
以下の通りに作動すれば、非常停止スイッチは正常に機能しています。

1　漏電ブレーカーを「入」にする。
2　非常停止スイッチを押す。
3　漏電ブレーカーが「切」になる。

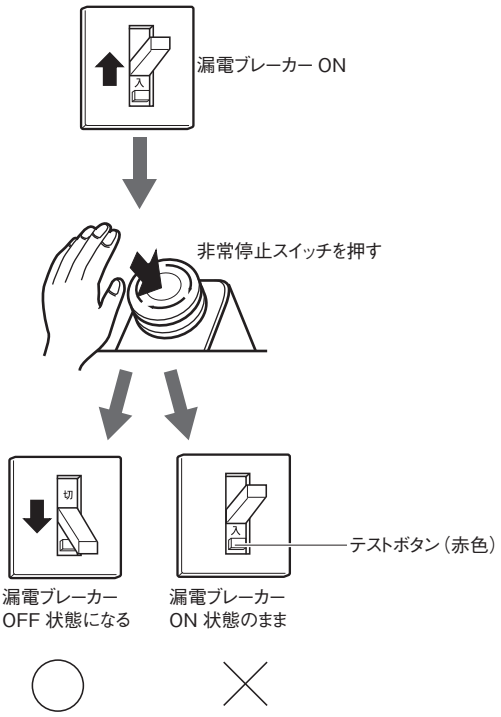
非常停止スイッチを押すと、ボタンスイッチにロックがかかる構造になっていますので、ロックを解除する場合は、非常停止スイッチの上部を右方向に回転させると解除することができます。

⚠ 警告　漏電ブレーカーが「切」にならない場合（「入」のままの場合）は、以下の手順で確認していただき弊社または、取扱店までご連絡ください。

漏電ブレーカーに付いている赤色のテストボタン（右イラスト参照）を押してください。

・漏電ブレーカーが「切」になった場合
　＝非常停止スイッチの故障が考えられます。

・漏電ブレーカーが「入」のままの場合
　＝漏電ブレーカーの故障が考えられます。



8　正しい使い方

⚠ 注意　フットスイッチを踏むと圧着レバーが閉じます。 特にシール面に袋をセットする時などは、 指を挟まないように充分注意してください。

⚠ 注意　シール作業を続けていくと、シール受け板が蓄熱し温度が上がりますので、触らないようにしてください。

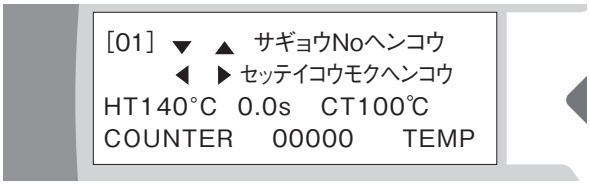
MEMO　動作を途中で中断したい時は、コントロールパネルの ENT ボタンを押すと電源を切らずに作業を中断できます。

注 ！　万一、アクシデントが発生した場合は、非常停止スイッチ（赤いボタン）を押すと、漏電ブレーカーが切れます。

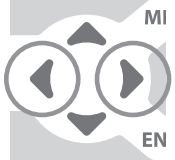
「7 準備」に記載している準備事項を全て行ってから製品をお使いください。

工場出荷時には 2 つのシール方式が登録されていますが、設定は同じです。
作業手順を読んでいただき、初期設定をお試しいただくことで使い方のおおよその流れを確認していただくことができると思います。

■　起動時の画面



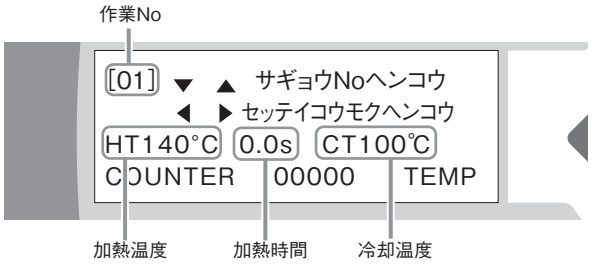
左右の矢印のどちらかを押し設定画面にお進みください。



■　作業 No. [01]　設定画面

8-1　作業 No. [01]《シール専用》作業手順

設定画面の表示内容



	手　　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1	エアコックを開く 圧着レバーが開く	7 準備 >> 7-4 エア源のセットアップ >> エアコック エアコックを開く
2	漏電ブレーカーを ON	7 準備 >> 7-5 ブレーカーを ON
3	電源ボタンを ON	7 準備 >> 7-6 電源ボタンを ON
4	作業ナンバーの選択	8-2 各操作・各設定リファレンス >> 作業 No. の選択
5	加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	8-2 各操作・各設定リファレンス >> 加熱温度の設定
6	加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	8-2 各操作・各設定リファレンス >> 加熱時間の設定
7	冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	8-2 各操作・各設定リファレンス >> 冷却温度の設定
8	シール面に袋をセット	シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。
9	フットスイッチ（1 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！　圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

10	フットスイッチ（2 回目）を踏む	2 回目のフットスイッチを踏む操作をすると 1 から 5 の工程が自動的に行われます。 1　圧着レバーがシール面に密着（シール開始）。 2　加熱中ランプが点灯。 3　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 4　冷却終了　冷却中ランプ消灯 5　シール完了（圧着レバーが上がります）
11	シール完了	長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

終了するとき

1 電源ボタン OFF

2 漏電ブレーカーを切にする

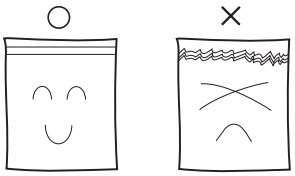
3 エアコックを閉じる

↓

終　了

シールの仕上がり状態について

インパルス方式のシーラーは、シール条件として加熱、冷却、圧力が重要であり、シールの良否に大きく左右します。また、異なる包材、内容物に於いて加熱温度、冷却温度、加圧力の最適な設定が異なりますのでご注意ください。



注 ！ 異なる包材、内容物における最適なシール状態をお客さまの責任において確認してください。ガゼット袋の場合、厚みが場所によって異なりますので密封されているかどうか、必ず確認してください。
【例：水中で袋を押し、気泡が出ないか確かめるなど】

附属部品の中にシールサンプルを入れておりますので参考にご利用ください。
テフロン、シリコンゴムの網目が均一にシール模様に現れている状態が最適なシール状態です。

8-2　各操作・各設定リファレンス

以下のリファレンスを読む前にご確認ください

1　以下の設定は、全て電源ブレーカーが ON 状態、電源ボタンが ON 状態に設定してあるとして説明しています。
2　ディスプレイ画面イラストでは任意の設定で変化する数値部分を「XX」で表示しています。
3　カーソルを合わせた時に点滅している部分の下側に「〜」、背景に「■」を付けて表示しています。

■　五十音順

か

カウンター

リセットの方法は、下記の作業画面が表示されている状態で ENTER ボタンを 3 秒間押してください。

```
[01] ▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
     ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
HTXXX℃ X.Xs CTXXX℃
COUNTER   00000    TEMP
```

カウンター値を 1 つ下げたい場合は、 ENTER ボタンを押してください。
3 秒間押し続けるとカウントがリセットできます。

か

加熱温度の設定

1　■ 表示されている作業 No. に対して設定を行いたい場合：
>> ▶ ボタンを押すと設定項目変更画面に変わりますので、2 の説明へ進んでください。

```
[01] ▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
     ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
HTXXX℃ X.Xs CTXXX℃
COUNTER   00000    TEMP
```

（〜部分は点滅しています）

■ 現在表示されている作業 No. 以外の作業 No. に対して設定を行いたい場合：
>> 『8-2 各操作・各設定リファレンス >> 作業 No. の選択』をご覧いただき設定を行いたい作業 No. を選択してください。選択ができたら ▶ ボタンを押して 2 の解説へ進んでください。

2　HT の文字のすぐ右が点滅しています。この状態で加熱温度の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。
▲、▼ ボタンを一回押すと 1℃増減します。押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：60 〜 250℃）

注 ！　設定温度は、使用される包装フィルム（袋）の材質により適切な溶融温度は異なります。シールができる最低の温度に設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えられます。

か

加熱時間の設定

1　■ 表示されている作業 No. に対して設定を行いたい場合：
>> ▶ ボタンを押すと設定項目変更画面に変わりますので、2 の説明へ進んでください。

```
[01] ▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
     ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
HTXXX℃ X.Xs CTXXX℃
COUNTER   00000    TEMP
```

（〜部分は点滅しています）

■ 現在表示されている作業 No. 以外の作業 No. に対して設定を行いたい場合：
>> 『8-2 各操作・各設定リファレンス >> 作業 No. の選択』をご覧いただき設定を行いたい作業 No. を選択してください。選択ができたら ▶ ボタンを押して 2 の解説へ進んでください。

HT の文字のすぐ右が点滅しています。この状態で ▶ ボタンを押すと、「x.x S」の加熱時間の位置へカーソルが移動します。

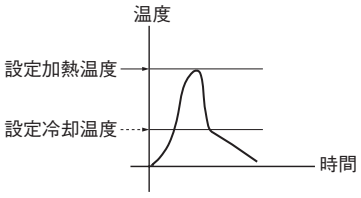
```
[01]  ▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
      ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
HTXXX℃ X.Xs  CTXXX℃
COUNTER   00000    TEMP
```

（～部分は点滅しています）

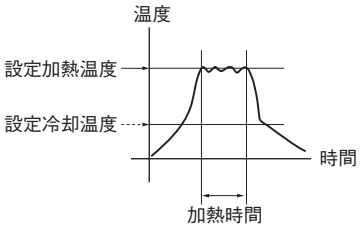
加熱時間の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。▲、▼ ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.0 ～ 2.0 秒）

MEMO 温度制御における加熱時間とは設定した加熱温度を維持させる時間のことです。通常は、加熱時間を設定しなくても（加熱時間を 0.0 秒にしても）シールはできます。包装フィルム（袋）に厚みがあり、加熱温度を上げてもシールができない場合やシールができてもフィルムがダメージを受けている場合のみ加熱時間を設定する効果が期待できます。

■加熱時間を設定しない場合の加熱温度測定グラフの軌跡



■加熱時間を設定した場合の加熱温度測定グラフの軌跡



さ

作業 No. の削除

MEMO 作業 No. の削除中、4 の ENTER ボタンを押す前であれば、 MENU ボタンを押すと、削除を中止することができます。

1　作業 No. が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

```
[01]  ▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
      ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
HTXXX℃ X.Xs  CTXXX℃
COUNTER   00000    TEMP
```

MENU ボタンを押すと次イラストのメニュー画面に変わります。

```
メニュー◀▶  センタク  MENUモドル
1  トウロク        2  サクジョ
3  メンテナンス
```

2　◀、▶ ボタンで「3　サクジョ」の位置にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押して確定してください。次イラスト画面に変わります。

```
[0x]  ▼ ▲  サギョウNoセンタク
      ENT  サクジョ
HTXXX℃ X.Xs  CTXXX℃
```

3　この画面で削除する作業 No. を ▲、▼ ボタンで選択します。

4　削除したい作業 No. が表示されたら、ENTER ボタンを押すと削除されます。

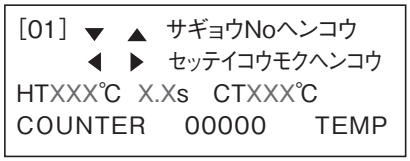
注！ 削除したデーターは元に戻すことができませんので、削除するときはよく確認をしてから行ってください。

MEMO 登録してある作業 No が 01 のみの場合、作業 No.01 を削除しようとするとディスプレイ画面に「スベテ　サクジョ　デキマセン」と表示されます。

さ

作業 No. の選択

作業 No. が表示されている状態の画面の時に

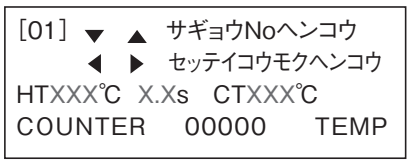


▼ボタンを押すと「1 つ前の登録された作業 No の画面」に変わります。 ▲ボタンを押すと「1 つ後の登録された作業 No の画面」に切り替わります。

し

シール方式の選択・登録

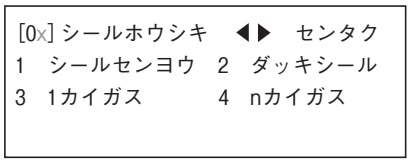
1 作業 No. が表示されている状態の画面の時に



MENU ボタンを押すと次イラストのメニュー画面に変わります。

2 登録の場合：◀、▶ボタンで「1 トウロク」の位置にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押して確定してください。

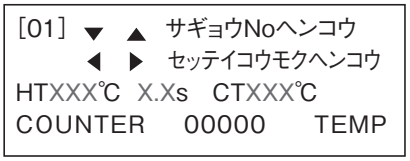
3 次イラストのメニュー画面に変わります。



め

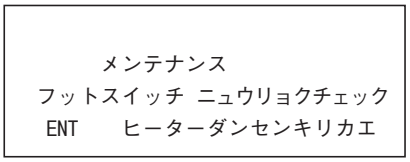
メンテナンスモードの選択

1 作業 No. が表示されている状態の画面の時に



MENU ボタンを押すと次イラストのメニュー画面に変わります。

2 ◀、▶ボタンで「3 メンテナンス」の位置にカーソルを合わせます。ENTER ボタンを押して確定すると次イラストになります。



3 フットスイッチを踏むとメンテナンスが開始します。

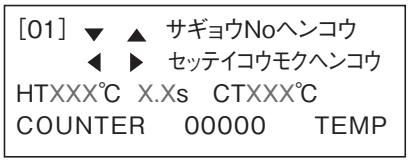
注 ! エラー表示が出た場合は「17 主な故障状況と対処方法 >> 17-2 ディスプレイのエラー表示について」をご覧いただき、適切な対処を行ってください。

れ

冷却温度の設定

1 ■ 現在表示されている作業 No. に対して設定を行いたい場合：

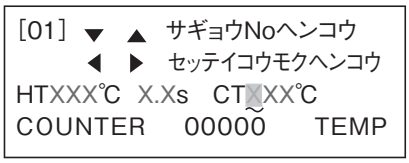
>> ▶ ボタンを押すと設定項目変更画面に変わりますので、2 の説明へ進んでください。



■ 現在表示されている作業 No. 以外の作業 No. に対して設定を行いたい場合：

>> 『8-2 各操作・各設定リファレンス >> 作業 No. の選択』をご覧いただき設定を行いたい作業 No. を選択してください。選択ができたら ▶ ボタンを押して 2 の解説へ進んでください。

2 HT の文字のすぐ右が点滅しています。この状態で ▶ ボタンを 2 回押すと、カーソルが移動し CT の文字のすぐ右が点滅します。



冷却温度の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。

▲、▼ ボタンを 1 回押すと 1℃増減します。押し続けると高速で増減します。

（設定範囲：40℃～加熱温度設定値）

注 ！ 設定温度を極端に高く設定すると、美しく丈夫なシールができませんのでフィルムに合った温度設定にしてください。

注 ！ 極端な設定にしようとすると、下記の警告がディスプレイ画面に 4 秒間表示されます。